

応用力学研究所の共同利用研究に関連し、三重大学 前田・鎌田研の学生さん2名が当研究室に滞在しました。

【滞在期間】 2023年11月15日～2023年11月17日

【特定研究4】 日本型・洋上風力発電の導入に資するマルチスケール風況研究

統括責任者：九州大学 内田 孝紀

新エネルギー工学分野 研究題目 / 代表者		所内責任者
2023S4-ME-*		
1	ウィンドファーム内の風特性が風車に及ぼす影響の基礎的研究 前田 太佳夫 (三重大学)	内田 孝紀
2	ドローンによる風況場局所計測に向けた乱流時空間構造解析 佐々木 真 (日本大学)	内田 孝紀
3	洋上風力発電が沿岸空港の低層風況に及ぼす副次的効用についての検討 牧 緑 (宇宙航空研究開発機構)	内田 孝紀
4	我が国の洋上風力発電におけるリスクに関する研究 本田 明弘 (弘前大学)	内田 孝紀
5	RIAM-COMPACTの後流モデルの検証 小野 謙二 (九州大学)	内田 孝紀
6	養殖用浮体に設置された多連垂直軸風車の空力応答 久保田 健 (弘前大学)	内田 孝紀
7	風況シミュレーションの高度化のための気象モデルとCFDモデルの結合手法の開発 日下 博幸 (筑波大学)	内田 孝紀
8	産業用ドローンによる気象観測システムの構築 近藤 文義 (海上保安大学校)	内田 孝紀

[https://www.riam.kyushu-u.ac.jp/joint/joint-research\\_red.html](https://www.riam.kyushu-u.ac.jp/joint/joint-research_red.html)



大型境界層風洞（地球大気動態シミュレーション装置）の前での記念撮影, 2023.11.17